

第 3 回飯舘村蕨平地区における可燃性廃棄物減容化事業に係る協議会
議事録要旨

日 時	平成 27 年 7 月 8 日 (水) 13 : 30 ~ 15 : 00			
場 所	飯舘村役場飯野出張所			
出席者	委 員 ◎ : 会長	飯舘村	◎飯舘村村長 ・ 蕨平行政区長 ・ 蕨平行政副区長 ・ 蕨平牧野利用組合長 ・ 小宮行政区長 ・ 長泥行政区長 ・ 飯舘村議会議員 ・ 飯舘村行政区長会長 ・ 除染推進課除染係長	菅野 典雄 志賀 三男 菅野 哲夫 志賀 毅 菅野 一三 嶋原 良友 北原 経 愛澤 文良 庄司 稔
		福島県	・ 産業廃棄物課主幹兼副課長 ・ 相双地方振興局県民環境部長	小池 由浩 米沢 修志
		環境省	・ 指定廃棄物対策担当参事官室課長補佐	岸田 秀
		環境省 福島環境 再生 事務所	・ 調整官 ・ 減容化施設整備課長 ・ 放射能汚染廃棄物対策第一課 首席廃棄物対策官 ・ 減容化施設整備課課長補佐 ・ 減容化施設整備課課長補佐	馬場 康弘 小島 啓之 大川 裕 境 道啓 赤石沢則男
		事務局	環境省福島環境再生事務所	
事業者	仮設焼却施設 ・ IHI 環境・日揮・熊谷組 JV 仮設資材化施設 ・ 日揮・太平洋セメント・太平洋エンジニアリング・日本下水道事業団・農業食品産業技術総合研究機構・国際農林水産業研究センターJV			

議事要旨

- 第二回協議会議事録が了承された。
- 人事異動により委員が変更となったことが了承された。
- 事業者から減容化施設及び資材化施設の工事進捗状況と今後の工事工程などについて説明があり、質疑応答により以下の点が確認された。
 - ・10万 Bq/kg 以下の焼却灰については、フクシマエコテックの活用について調整中であること。また、10万 Bq/kg 超の焼却灰については、中間貯蔵施設への搬入を計画していること。
 - ・8月から11月へと施設竣工時期が遅れるが、平成31年秋には全てを終了させることについては遅らせないようにすること。
 - ・2ヶ所（芦原、大谷地）の信号機設置の要望については村で確認すること。
 - ・搬入で長泥を通行しないことになっているが、長泥を除染して長泥・比叢を通行する経路の確保により、利便性が増すという件は、治安の悪化の問題もあるので内閣府に相談し総合的に検討すること。
 - ・除染大型ダンプにより路肩が壊れないように、道路拡幅、グレーチング敷設工事を実施していること。
 - ・先行して乾燥汚泥を運ぶことについては、南側エリア2で受け入れているが、いずれ処理されること。エリア1で灰の保管庫を建設中であり、焼却処理開始時には灰の受入れが可能になること。
 - ・小宮－蕨平線の交通量予測については、廃棄物の運搬車両だけでなく除染車両も含めて検討すること。
 - ・次回は本格稼働開始前に開催すること。
- 事務局から生活環境影響調査の結果について説明があり、以下の点が質疑応答により確認された。
 - ・生活環境影響調査では排水を放流しないため、評価対象としていないこと。
 - ・大気の放射性物質濃度の予測値（長期予測と短期予測の結果）を再確認すること。
 - ・ダンプトラックの排ガスの評価の必要性について検討すること。

－以上－